

# アカデミアセミナー 2013 in 高知大学

今回のテーマは、

## 生物資源を未来の食と健康に生かす研究と 異分野連携のすすめ！

◆日時：2013年（平成25年）1月26日（土曜日）13:00～15:05

◆場所：高知大学物部キャンパス・農学部講義棟5-1講義室

問合せ先：高知大学・総合科学系・生命環境医学部門 永田信治

TEL:088-864-5190 E-mail:nagashin@kochi-u.ac.jp

世話人：高知大学・総合科学系・生命環境医学部門・教授・金 哲史

### 講演内容

- ① 「高知の植物資源戦略と農工医連携」 渡邊 高志  
高知工科大学・地域連携機構  
連携研究センター・補完薬用資源学研究室・室長
- ② 「高知の食材で健康未来！」 受田 浩之  
高知大学・国際地域連携センター長、  
高知大学・総合科学系・生命環境医学部門・教授
- ③ 「ビタミン B6 酵素の基礎と応用研究」 八木 年晴  
高知大学・自然科学系・農学部門・教授
- ④ 「機能性食品素材（糖転移ヘスペリジン）の開発  
～脂質代謝異常を是正する次世代老化予防食品の創製～」  
三鼓 仁志・山田 未佳・新井 紀恵・西 浩一  
(株)林原・応用研究部

**最初の講演①②**は、「資源としての高知の植物の魅力」をテーマとする市民フォーラムです。有名な植物学者・牧野富太郎を生んだ高知県には、亜熱帯から亜寒帯な土地に見られる様々な植物が自生しています。それらの植物は、我々の食や健康を守る価値ある資源です。高知工科大学の渡邊先生が薬学の立場から（講演①）、高知大学の受田先生が農学の立場から（講演②）、高知の植物の魅力をやさしく解説します。**次の講演③**は、日本農芸化学会の学術講演会として、高知大学の八木先生が、高知大学に在籍した約30年間を通じて研究してこられた、ビタミン B6 酵素の基礎から応用について解説します。**最後の講演④**は、日本農芸化学会中四国支部の技術賞を受賞した機能性食品素材の研究について、トレハロースで有名な岡山県の(株)林原・応用研究部が、次世代の老化予防食品の開発を目指して行った研究成果を紹介합니다。

今回のセミナーは、日本農芸化学会中四国支部創立10周年を記念して開催する第22回市民フォーラム（講演①②）と第35回講演会（講演③④）の支援で行われます。